

令和4年度 岡山県井原市立高等学校 学校評価書

岡山県井原市立高等学校
校長 木村 大

1 学校経営目標

- (1) 学習評価・学習指導の拡充
- (2) 自立することのできる生徒の育成
- (3) 勤労観の育成
- (4) 安心・安全な学校生活の保障
- (5) 学校課題に対する取組

2 自己評価

評価結果・分析・改善方策については、別紙参照

- ① 学校自己評価「令和4年度 岡山県井原市立高等学校 学校評価書」
- ② 学校評価アンケート「R4 学校評価アンケート（集計結果）」

3 学校関係者評価（評価者名）

○評価者名

- 岩本 展到（井原市役所 総合政策課 次長）
乗藤 昭範（クリーンサービス・イバラ 代表取締役社長）
藤井 孝行（井原小学校 校長）
本井 誠治（株式会社 まこと 代表取締役）
山田 正人（夏目自治会 会長）
佐藤勢一郎（株式会社 ビザビ）
岡本 光正（本校後援会 会長）

○学校関係者評価

- (1) 「自己評価」結果の適切さ
 - ・それぞれの目標に対して具体的な達成基準が示され、その達成に向けた取組が適切に評価されている。
- (2) 改善方策の適切さ
 - ・地味な指導の積み重ねが成果(数値)として表れている。継続してください。
 - ・学校が抱える課題の改善に向け、取組がより重点化されている。
 - ・アンケート結果から、肯定的な意見が多く前向きに考えていることがうかがえる。
 - ・近隣小中学校との連携が推進され、活動の広がりが感じられる。
- (3) 総合的な評価
 - ・生徒や保護者の要望をしっかりと受け止めた教育活動を実践していくとともに、生徒が主体的に学ぶ機会を意識的に創出し、学びに向かう力の育成に向けた取組がなされることを期待している。
 - ・自分から進んで意見が言え、課題を見つけ、行動できる生徒の育成に向けて、地域との連携推進による教育活動の充実が求められる。

4 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

- (1) 学校経営目標の達成に向け、改善方策に基づき、より具体的な計画を立て、実行する。
- (2) 育てたい生徒像として掲げている「強く やさしく 誠実な生徒」を育成していくために、12の資質能力の育成に取り組む。
- (3) 新学習指導要領の趣旨に沿った学びに向かう力の育成に向けた授業の工夫を通じ、生徒の学習意欲を高め、学力の充実を図る。
- (4) ICT機器を効果的に活用し、一人ひとりの学力や個性に応じた「個別最適化された指導・支援」をさらに推進する。
- (5) コミュニティスクールとして学校運営協議会を有効活用して、地域連携をさらに推進し、地域の一員として行動・貢献できる人材の育成を目指した教育活動を積極的に行う。